2）普通畑作物　（1）畑除草剤使用体系図　イ）大豆

大豆生育ステージ：出芽期　３葉期　６葉期　開花期　落葉期　成熟期

大豆栽培管理：播種　中耕培土　中耕培土　収穫

耕起前/播種前等
［茎葉処理］※4
・サンダーボルト００７
・タッチダウンｉＱ
・バスタ液剤
・プリグロックスＬ
・ラウンドアップマックスロード
［播種前土壌混和］※1
・トレファノサイド乳剤

大豆播種後出芽前［土壌処理］※2

広葉及びイネ科雑草対象
・エコトップＰ乳剤/細粒剤Ｆ
・シナジオ乳剤
・プロールプラス乳剤
・ダイロンゾル
・ラクサー乳剤/粒剤

広葉雑草対象
・フルミオＷＤＧ
・ロロックス/粒剤

主にイネ科雑草対象
・トレファノサイド乳剤/粒剤2.5
・フィールドスターＰ乳剤
・ラッソー乳剤

大豆生育期　（前半）
［茎葉処理（全面茎葉散布）］※4

広葉雑草対象
・パワーガイザー液剤※3

広葉雑草対象
・アタックショット乳剤
・大豆バサグラン液剤※3

イネ科雑草対象
・ホーネスト乳剤
・ポルトフロアブル
・ワンサイドＰ乳剤
・ナブ乳剤

大豆生育期　（前半）　［茎葉処理］※4

畦間・株間散布
［選択性］
・ロロックス
・ダイロンゾル
［非選択性］
・バスタ液剤

畦間散布
［選択性］
・パワーガイザー液剤※3
［非選択性］
・ザクサ液剤
・サンダーボルト００７
・プリグロックスＬ

大豆生育期（後半）
［茎葉処理（雑草茎葉塗布）］※4
［非選択性］
・タッチダウンｉＱ

大豆落葉終期～収穫14日前
［茎葉処理（雑草茎葉散布）］※4
［非選択性］
・ラウンドアップマックスロード※5

凡例：←→　散布時期

※１：播種前土壌混和を行う場合は、播種直前の処理を基本とし、慣行の土壌処理と組み合せて実施する。
※２：土壌処理剤の効果持続期間は30日程度であり、大豆３葉期頃には効果が低下する。また中耕培土により処理層が破壊されるので、後発雑草の対策が必要となる。
※３：大豆バサグラン液剤およびパワーガイザー液剤は、有機リン系殺虫剤の使用後に使用すると薬害発現が強くなる。
※４：茎葉処理剤は、散布後に天候不順が続くと効果の完成に時間がかかる場合がある。
※５：大豆落葉終期以降のラウンドアップマックスロード散布は、使用上の注意事項と散布適期を確認してから、薬剤が大豆にかからないように散布する。